

美郷商工会

吉野川市の美郷商工会は美郷地区住民の生活の知恵や農林業の技を取り入れた、一年を通じた体験型観光メニューづくりに取り組む。観光客が四季折々に

体験できるようにし、住民との触れ合いを楽しんでもらう。近く、商工会関係者や地区住民らで委員会を立ち上げ、365のメニューを1年間かけ検討する。

クワガタ捕りやソバ収穫…

365通り 山里体験

近く委員会発足 1年かけ検討

観光メニューづくりは過疎

受けた。

・高齢化が進む山里に交流人口を増やす狙い。候補には、梅干し作りや山菜採り、ソバの収穫、木の皮を使った縄編み、クワガタムシ捕り、田舎料理体験などが挙がっている。

高年齢が進む山里に交流人口を増やす狙い。候補には、梅干し作りや山菜採り、ソバの収穫、木の皮を使った縄編み、クワガタムシ捕り、田舎料理体験などが挙がっている。

「キレイのさと美郷」プロジェクトとも関連つけて実施する。

「観光客に美郷の良さに触れてもらうことで、地域の文化の継承にもつなげたい」と話している。

客層は、都市部に住む健康志向の個人客や少人数グループ。一年間のカレンダーとしてまとめ、インターネット上に公開。観光客の要望を聞いて、体験メニューのあっせんなどをする住民組織づくりに取り組む。

「美郷・春夏秋冬365の体験メニューづくり推進事業」として、経済産業省から「地域資源の全国展開プロジェクト」の補助金八百万円を

「美郷・春夏秋冬365の体験メニューづくり推進事業」として、経済産業省から「地域資源の全国展開プロジェクト」の補助金八百万円を



ソバを収穫する観光客ら。美郷商工会が取り組む体験型観光のメニュー候補に挙がっている。昨年11月、吉野川市美郷大神